

しろいしここから通信!

第16回 大腸がんについて

大腸の働きについて



大腸は長さ約2m、直径約5～7cmで小腸を時計回りを取り囲むように位置しています。

主に水分の吸収を行い、便を作る役割をしています。

大腸がんになる人が増加しています

大腸がんは

がん罹患数 **第1位**

がん死亡数 **第2位**

大腸がんになる人は、40歳代から増加し、高齢になるほど割合は高くなります。近年は、40歳代の大腸がんも増えてきています。



大腸がんになる人が増えているんだって。どうして増えているのかな？
もしも大腸がんになったら心配だよね…

大腸がんの要因…加齢、肥満、アルコール摂取、喫煙の他に次のような背景があるとされています。

食生活の欧米化

- ・赤身肉や加工肉などの動物性たんぱく質の増加
- ・食物繊維の摂取量の減少 など

運動不足

- ・自動車交通の発達による歩数の減少

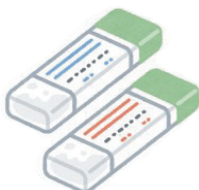
脂肪消化の際に発がん物質が発生してしまう。
便が大腸に長時間とどまると、発がん物質に接触する時間が長くなる。

早期発見すれば高い確率で治療できます

大腸がんは、早期に発見すれば約9割の高い確率で治療できます。一般的に、早期の段階では自覚症状がないので、**毎年大腸がん検診を受けて、無症状の時に発見することが重要です。**

がん検診を実施中です

大腸がん検診の内容は、問診と便潜血検査です。がんからの出血がある時もあれば、出血しない時もあるので、2日分の便を検査します。



※6月に配布した住民健診ガイドブック、健診通知をご覧ください。

要精密検査の結果がきたら

早期発見できる可能性があるので、必ず精密検査を受けましょう。精密検査では、通常、大腸内視鏡検査が行われます。

また、前回の検査が異常なしでも、便に血が混じる、腹痛、便の回数や性状の変化など気になる症状が続く場合には、次のがん検診を待たずに医療機関を受診しましょう。



早期発見が大事なんだね！
毎年検診を受けて身体のサインを見逃さないようにしようね。

問 保健福祉課 健康づくり係 ☎0952-84-7116